

1 【貴女はドスケベ伝道師】『おほ声どしゆけば言葉攻め

2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34

爽やかイケメン先輩とイクイクえっち!?!』

● キャラクター紹介

● 来栖

ヒロインの所属している社内でも一番のイケメンと噂される先輩社員。
仕事も完璧で愛想もよく、優しい一面から女子社員はみんな憧れている。
ヒロインに対しては真面目で仕事の出来る自慢の後輩として誇らしく思っているようだ。
普段は隠しているがかなりの絶倫と性欲の持ち主。
一人称「俺」 三人称「キミ、後輩ちゃん」

● ヒロイン

いたってごく普通の一般OL。
ある時寂れた神社を訪れたことで「ラッキースケベ」の体質を手に入れてしまっ。
ちよつとしたハプニングを全てスケベな出来事に変えてしまう能力のせいで、
えつちなことに巻き込まれやすくなってしまった。元々むつりスケベな一面がある。

● 神様

寂れた神社にまつられていた神様。
姿はなく、対象の脳内に語りかける形で現れる。
その実態は『ラッキースケベ』に感謝する人々の信仰心や想いによって形づくられた存在。
最近はめつきり力をなくしていたが、たまたま訪れたヒロインのお参りのおかげで
少しだけ力を取り戻したらしい。

■ あらすじ

『ラッキースケベの神様』……寂れた神社に現れた謎の声はそう語った。
「明日からお主は、ラッキースケベの伝道師となるのだー」とか意味の分からないことを発言
している神様から逃げるように神社を後にしたもの、
あれは一体何だったのだろうか。
そんなことを考えながら過す至つて普通な日常の中で、
あなたは憧れの先輩である来栖に声をかけられる。
喜びも束の間、共に向かった資料保管室の中で……バランスを崩してよろめいた途端に先輩
のお顔におまんこを押し付ける体勢になってしまい……!?!
もしかしてこれが、『ラッキースケベ』とかいうヤツですか!?!

● 本編

■ トラック①

《収録区切り》

◇(場面：神社)

◇(とある人気の少ない神社にてヒロインが参拝をしているシーンから開始)

(SE：足音)

(SE：賽銭を投げ入れる音)

(SE：手を合わせる音)

(突如としてヒロインの脳内に語りかけてくる神様が現れる)

【DHM：⑤】

神様『おお…やはり誠心優しきその精神…そなたこそ

我が力を賜(たまわ)るにふさわしい存在だ』

ヒロイン「…？だ、誰ですか？」

神様『何、今はそなたの心に語りかけているに過ぎない。今時珍しい親切なおな、よ、
主のおかげで我は少しだけ力を取り戻した』

ヒロイン「……はっ。」

【DHM：④】

神様『そうだ、我はラッキースケベの神様』

ヒロイン「……………はっ。」

【DHM：③】

神様『もう一度名乗ろうか。我はラッキースケベの神様』

ヒロイン「いや、聞き取れなかったわけじゃないので、2回言わなくてもいいです」

神様『おおそうか。最近の子は随分と物分かりがよいな。』

我は全知全能。全てを見通す力があるがゆえに、そなたが欠かさず、

この神社へ足を運び、あまつさえ供え物を献上しておるのも知っているぞ。」

71 神様『我もまがいなりにも神である。その恩義を返したいのだ』

72
73
74 エロイン「…ちよつと何を言っているんですか？」

75 神様『誰もがうらやむその力こそが……ラッキースケベなのだ。

76 おのこが予期せぬラッキースケベに遭遇した時、一様に神に感謝するだろう。
77 その力を賜る神こそが我なのだ』

78
79 エロイン「この国、神様いすぎじゃあ…」

80
81 【DHM…①】

82 神様『そうだな。人の数だけ信仰心がある。我もその事象の一つに過ぎない。

83 昔のおのこたちは単純だったからな。我が少し風を吹かせて
84 前栽(ぜんざい)の隙間からおなの後ろ姿を見せてやっただけで、
85 法外の感謝を示してきたものだ……』

86
87 エロイン「昔すぎでは…平安か？」

88
89 【DHM…⑦】

90 神様『いやいや、そう否定をするでない。ほんのつい最近も、ちよつとばかり

91 風を吹かておなのスカートをめくつてやるだけで、
92 我に対して心底感謝してきたものだよ。

93 しかし、令和の男どもは…スマホ？といったか。電子媒体によつて提供される
94 刺激的なスケベに慣れすぎて、
95 パンチラ程度では我に感謝するそぶりも見せなくなった』

96
97 神様『悲しいものだが神は祈りと感謝によつて力を得るわけで、

98 奇跡とも呼べるスケベを起こしたとて興奮を覚えるモノは少なく……
99 我はこつして長いこと力を失つていたというわけだ』

100
101 エロイン「はあ…なるほど…」

102
103 【DHM…⑥】

104 神様『毎年神無月に出雲で行われる会合でも、肩身が狭くてな』

105
106 エロイン「えええ…ラッキースケベの神様も、出雲に集合するの…？」

107
108 神様『だがおなごよ、主は我に対して信仰心があると見た。
109 依り代として、我を崇める信者を増やしてくれまいか』
110

111 ヒロイン「いや、ラッキースケベの神様だと知つてたら、お供えなんかしなかった…」
112

113 【DHM…⑤】

114 神様『見たところ、そなたは随分男を魅了する体つきをしているではないか。
115 そのうえ……スケベの適正も高いと見た』
116

117 ヒロイン「何を勝手に覗いているんですか?…」
118

119 神様『なに、お主の体を少しだけ使わせてもらつて、我が力を振りまく…
120 それだけのことだ。

121 要するに周囲の男どもに

122 ラッキースケベに感謝する機会を与えてやるだけでよいのだ。

123 簡単なことだろう?』
124

125 ヒロイン「ええ……遠慮しておきます…」
126

127 (SE…遠やかなる足音)
128

129 【DHM…⑤→⑬に移動しながら】

130 神様『……おい、ちよつと待つのだおなごよー。
131

132 我から逃げようとしてもそうはいかんぞ……
133

134 今からお主は、ラッキースケベの伝道師となるのだ!』
135

【アップク①END】

136 ■トリンク②

137 《収録区切り》

138 ◇(場面転換…会社のオフィス内)

139
140 エロイン「はあ…」の前はひどい目にあつたなあ…ていうかあれつて
141 そもそも現実だつたのかな？」

142 【DHM…⑩】

143 来栖「は…はい…分かりました。そしたら資料の方取ってきますね。
144 …あ、丁度いいとろに…」

145 【DHM…⑩→⑪に移動しながら】

146 来栖「おーいーごめんね後輩ちゃん、急に声かけちゃつて。」
147
148
149 エロイン「えっー来栖先輩。どうされたんですか？」

150 【DHM…⑪】

151 来栖「実は取引先の会社の過去二年分の決算資料が見たいんだけど…
152 …どこにあるか分かるかな？」

153 エロイン「あつ、それなら資料室に保管されていますので…私、取ってきますね」

154 来栖「そっか、前の資料だから資料室にあるのか。
155 それなら俺も一緒に行くよ。どこに保管されているか知っておきたいしね」

156 エロイン「そんな、忙しつのに悪いですよ」

157 来栖「…ううん。寧ろうちこそ案内してくれるのありがたいからさ。
158 キミならちゃんと資料把握してるの知ってるし、頼りにしてるよ。」

159 【DHM…⑧】

160 来栖「…いや、資料保管室の鍵はもらつてあるし…いつか」

161 エロイン「はっ…」

162
163
164
165
166
167
168
169
170
171 エロイン(まさかあの憧れの来栖先輩に声かけてもらえるなんて…！夢みたい…！)

ヒロイン(……もしかして、この前の神様のおかげとか……？
いやいやまさか、そんなことあるわけないよね)

(SOUND…足音)

◇【場面転換…二人でオフィスから資料保管室】

(資料保管室にやってきた二人、暗がりの中)

(SE…がさがさと資料を漁る音)

(SE…脚立に登って作業をしている音)

【DHM…⑥】

来栖「んぐ…分かつてはいたけど、右も左も資料だらけで見つけにくいな。
しかもばらばらに保管してるせいで手分けする羽目になるとは……
そっちは大丈夫そうっ。」

ヒロイン「大丈夫です！確かコッチの方にあつたと思うんですね」

来栖「おお、すげいな。もうぐぐにあるのかわかつてるんだ。
…脚立降りるとき気を付けてね。倒れてケガでもしたら危ないから」

来栖「それにしても…キミはいつもすげいな。会社でも遅くまで残って
真面目に頑張ってるの知ってるし……ふふっ…同じ課の後輩として、誇らしいよ。
ええと…ん、あつたー後輩ちゃん、こっちは見つかったよ」

ヒロイン「うちもありましたー」

来栖「よしよし、必要なのは見つかったね。それじゃあ戻ろっか…って……」

(ヒロインが脚立から足を踏み外してしまい、よろめいて落ちてしまう)

ヒロイン「きゃっ……」

208 【DM…⑨↓①に移動しながら】
209 来栖「危ない、後輩ちゃん！」
210 （落ちたと同時に来栖の顔にヒロインのおまんこが覆いかぶさる体勢に
211 なつてしまう）
212
213 （SE…覆いかぶさる音）
214

《収録区切り》

【DHM…①ト寄り】(「」からややぐもった音声で)

来栖 「……んお♡」

ヒロイン「お♡なんじゅ♡♡」

来栖 「な、なんでえっ♡支えようと思ったただけなのにっ…♡「め、ん♡

顔面におまんこ押し付けられる体勢になっちゃうとは思ってなかったな…♡」

ヒロイン「「「「めんなせ♡♡すっぴんきますっぴ…♡♡ん♡ほ♡♡♡♡」

(SE…布擦れ音)

ヒロイン(「」の恰好…♡下着越しだけどクリに当たっちゃってるお♡♡)

来栖 「……ん♡♡♡♡お、俺は大丈夫だよ…♡

後輩ちゃん「そケガはないかな…♡」

ヒロイン「平気…です♡♡けっ「「めんなせ♡♡

お♡♡ち♡♡ち♡ど喋られると私♡…♡♡」

来栖 「おお…そ、そうだよね♡

「んなん♡」ど「「ち♡ち♡喋たら、くすったくなっちゃっ♡ね♡

退(っ)へ、退くから♡ジシ♡っっ…♡んお♡…♡おお♡…♡」

ヒロイン(わ、私も動いた方がいいかな…♡あ♡♡)

(ヒロイン、たまたま近くにあった来栖のおまんぽを掴んで「ち♡♡)

(SE…布擦れ音)

来栖 「お♡♡、ん♡♡♡♡♡♡♡後輩ちゃん♡そ「掴んだ♡♡♡♡

んお♡♡やば♡♡後輩ちゃんにおまんぽ握られちゃっ♡♡♡」

ヒロイン「え♡♡お、ん♡♡「「「めんなせ♡♡♡♡」

251 来栖 「んっ♡おっほ…♡気持ちいい♡可愛い後輩ちゃんに
252
253 おちゃんぽ握られるの気持ちよすぎる♡」

254
255 エロヤン「おっ♡おっ♡おっ♡」

256 来栖 「ぶっっ…♡うっっ♡目の前もキミのおまんこぶっっぽうになっっるっ…
257 これもっ、我慢なんて出来るわけないじゃんっ♡
258 うっっめっ♡えっちなキミのっ、顔押し付けてズリズリしながら、
259 気持ちよくさせちゃってもいいんだよねっ♡」
260
261 (クンニ…10秒ほど)

262 エロヤン「んっ♡えっく、来栖しゃんっ♡クリトリスお鼻で「リ「リ♡ダメ♡♡
263 気持ちよくなっちやうっっ♡♡♡」

264
265 来栖 「んっ♡おっ…♡エロ…♡クリトリスもおつきくなっっ触っっほっっうにっっるっ♡
266 キミの発情まんこからメス臭プンプンっっくる♡♡」
267
268 (クンニ…10秒ほど)

269 来栖 「もっっ、もっっ…キミのっ♡と気持ちよくさせっあげるかられっ
270 俺のために喘ぐっっ♡♡」
271
272 (クンニ…10秒ほど)

273 エロヤン「おっほおおお♡はまん♡直にちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡るっ♡♡」

274
275 来栖 「後輩ちゃんのおまんこ♡♡ひくひく♡っっっ可愛っ♡♡んっ♡
276 クリトリスもこんなに勃起してっっしかめちやくちやデカいエロクリちゃんだ♡
277 ……後輩ちゃん、もしかしてクリオナ大好きだったりするの♡
278 それとも彼氏に毎晩チュパチュパ♡イジイジ♡されて、こんなおチンポみたいに
279 育っられちゃったのかな♡♡」
280
281 (クンニ…10秒ほど)

282 エロヤン「おっ♡っちゃんめっっうなっ♡♡彼氏っなっっ♡
283 毎晩お布団の中でクリトリスイジイジ♡したりなんかしてっっ♡♡
284 気持ちイイっっっっイクイク♡
285 足っっオナニーなんかっっっっもっっ♡♡」
286

340 ■リンク③
341 《収録区切り4》
342

343 【DHM…③寄り】

344 来栖 「(耳元でささやくように)まさかあの真面目な後輩ちゃんが
345 こんなにドスケベだったなんて…♡♡…もしかなくても、
346 やさき俺のチンポ挿んだのだってわざとだよ♡」
347

348 エロヤン「んおほ…♡♡しよんな」とならひ♡」
349

350 来栖 「(耳元でささやくように)
351 こんなにドト品まん」をびしゅびしゅと誘っておっ♡」
352

353 【DHM…①】

354 来栖 「毎日毎日かわいいう恰好で俺のこと誘惑しておいて、それはないよな♡見てよほら♡
355 俺のちんぽ♡もうこんなにイライラ止まなくなっちゃってるんだけっ♡」
356

357 (来栖、エロヤンの胸をまさぐり始める)

358 (胸攻め…10秒ほじ)

359 エロヤン「んおほ…♡おっせゐるダメエ…♡♡」
360

361 来栖 「はは…洋服も簡単に脱がせられちゃったね♡綺麗なおっぱいが丸見えだ♡」
362

363 (胸攻め…10秒ほじ)

364 【DHM…①寄り】

365 来栖 「しかも、ブラジャーまじフロントホックとか♡もう誘ってるんじゃないだろ♡
366 乳首もおっせく、エロヤンしちゃってるの、見えちゃった♡準備万端だな♡」
367

368 (乳首舐め…10秒ほじ)

369 エロヤン「んおほ♡」
370

371 来栖 「ちゅっ…♡ちゅっ♡ちゅっ…♡♡後輩ちゃんのおっぱいっ♡…♡
372 んおほ…♡♡クリトリスも乳首も敏感とか♡♡エロすぎるだろ♡」
373

374 (乳首舐め…10秒ほじ)
375

376 【DHM…①→⑧に移動しながら】

377 来栖 「ねえ、やっぱりキミってエッチな」と好きなんだろう
378 それならさ、俺とシたくない…っ」

380 【DHM…⑦寄り】

381 来栖 「(耳元でささやくように)……ドスケベセックス♡」

383 エロヤン「(…♡)」

385 来栖 「(耳元でささやくように)キミのドスケベおまんこに俺のガン反りちんぽ、
386 ずっぽり♡挿入れられて♡ぐちよぐちよ…っ♡ズボズボ…っでされて♡
387 気持ちよくなりたいんだろ♡♡」

389 (乳首責め…10秒ほど)

391 エロヤン「ん、おお…♡しよんな」となぐっぽあ…♡

392 私、エッチじゃないもん♡♡」

394 【DHM…①】

395 来栖 「素直じゃないな♡ねえ…後輩ちゃん♡言っ♡い♡

396 私は、おまんこにおチンポ入れられて♡たくさんズボズボされて♡

397 気持ちよくなるのが好きなんです♡…っで俺に言っ♡そしたら…♡♡」

399 (強めの乳首舐め…5秒ほど)

401 【DHM…⑦寄り】

402 来栖 「(耳元でささやくように)キミが味わった♡あのな、

403 最高の快楽を教えてあげるから…♡」

405 エロヤン「……♡お♡」

407 【DHM…⑧】

408 来栖 「……♡俺、チンポには少し自信あるんだよね…♡ねえ♡後輩ちゃん見…♡……♡
409 」「の力り首のすっ♡段差…♡♡」でおまんこの入口ホジ♡ホジ♡した♡ら…
410 めちゃくちゃ気持ちイイと思わな♡♡ほら…♡ちゅっ♡と触っ♡みっ♡よ…♡♡」
411

412 (ヒロインの手を自身のちんぽに誘導して触らせる)
413 (手「キ」に合わせた喘ぎ声:10秒ほど)
414

415 ヒロイン「ああ…♡んあ…♡」
416

417 来栖「…んお♡後輩ちゃんの手♡冷たくて気持ちいい♡ほろ…♡♡♡」のカリ首の段差♡
418 わかる♡♡でおまんこの奥までぐりぐりイジメてあげるよ♡
419 …♡んなの絶対おかしくなっちゃうくらい気持ちいい♡♡」
420

421 (乳首舐め&喘ぎ声…10秒ほど)
422

423 ヒロイン「…んお♡来栖さんのおチンポ熱くって♡ビクビクして♡
424 え♡ち♡す♡ぎ♡る♡よ♡は…♡♡♡♡こんなの挿入されたら私…♡♡♡」
425

《収録区切り》

【DHM…①】

来栖 「は……♡♡♡おん♡ちよ♡と試してみようか♡♡両手で輪っか作って♡
俺のおチンポ、後輩ちゃんの手でびっちょり♡包んで♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡動かしちゃ♡♡」

(手トキに合わせた喘ぎ声:10秒ほど)

ヒロイン「んお♡しょんな♡私の手をおまんこみたいに使ってる♡
おチンポ気持ちよくなっちゃってる♡」

来栖 「お♡♡お♡♡♡後輩ちゃんのおてっぺんめっちゃくちゃ気持ちいい♡
ほ♡♡♡おチンポ抜けてく時、カリ首の段差がこりゅん♡♡♡
入口♡入れるの分かるでしょ♡

これおまんこの中だとめっちゃくちや気持ちいい♡♡裏筋の段差も♡♡
おまんこの壁、丁寧にズリズリ♡♡してあげるよ♡♡♡♡」

(手トキに合わせた喘ぎ声:10秒ほど)

【DHM…②】

来栖 「はあ♡♡はあ♡♡ね、ね♡♡うっかな♡俺と一緒に♡
♡スケベSEXしてくれないか♡♡」

ヒロイン(♡♡♡無理、無理だよ♡♡んなのもって♡♡♡)
(……我慢できるわけ、ないよ♡)

(ヒロイン、来栖に向かっておまんこを差し出す)

ヒロイン「お♡♡♡もう我慢できな♡♡♡来栖さん♡私は♡スケベです♡
おっきなガン反りちゃんぽを、おまんこでずっぽら♡♡くわえ込め♡♡
アヘアヘアしながらパンパン♡♡ピストンしてもらって♡
気持ちよ♡♡くイクイク♡♡するのが大好きです♡♡」

460 【DHM…①】

461 来栖 「んお♡ふふふ♡エロいなあ…♡やつと俺と生交尾したいって言ってくれて、
462 ありがと…♡素直になってくれてうれしいよ♡

463 ドスケベなキミもとても素敵だよ♡ああ…なんてエッチなんだろうね♡
464 俺のおつきなガン反りちゃんぽをキミのおまんこですっぽり♡くわえ込んで♡
465 トロトロのアへ顔晒してよ♡そのまま俺にパンパン♡ピストンしてもらっ♡
466 気持ちよ〜くイクイクしちゃおうね♡」

467
468 来栖 「それじゃあ…キミの大好きな性感帯を教えてもらおうかな♡」
469

470 エロイン「…♡一番気持ちイイのは勃起クリイジイジ♡です♡毎晩お布団の中で
471 じっくりクリトリスを♡しよ♡して勃起させてから、

472 もう我慢できない♡♡してじらしにじらした後、爪の先で先ちよを
473 カリカリカリ♡♡つてして、イクイク〜♡♡♡♡♡♡♡♡♡
474 全身ビクビクさせないと寝られせん♡♡♡」
475

476 来栖 「おほ♡やつぱりクリオナ大好きだったんだね♡

477 だからこんなにおチンポみたいにおつきなエロクリになっちゃったんだ♡
478 毎晩お布団の中でじっくりクリトリスを♡しよ♡しよ懽(くすぐり)ながら、
479 勃起させて、我慢できなくなるくらいまでじらしにじらした後、

480 爪の先で先ちよをカリカリカリ♡♡つてして、イクイク〜♡♡♡♡♡♡♡♡♡
481 全身ビクビクさせないと寝られなくなるくらい♡
482 オナニーが大好きな子だとは思わなかったなあ♡
483 ……なんてドスケベなんだ♡これは可愛いに決まってるよ♡」
484

485 来栖 「じゃあせうかくだし、好きな体位も教えてもらおうかな♡」
486

487 エロイン「…♡お♡♡♡体位は♡♡♡後座位が大好きです♡♡♡

488 後ろからおチンポ挿入れられて♡み、耳をちゅっ♡ちゅっ♡されたり♡
489 舌でトロトロ♡首筋をねっ♡りナメナメ♡お♡ばいもモミ♡モミ♡

490 乳首ツネツネ♡たまにクリトリスもイジイジされながら♡
491 おチンポズボズボ♡されるのが♡…本当にたまらなくて♡♡♡♡♡♡♡♡♡
492

493 来栖「……おっ♡後ろから攻められたいだなんて、相当な変態さんじゃないか♡
494 気持ちイイとろいっぺんにイジジ♡されるのが好きなんて、
495 相当なドスケベだな♡
496 そっかそっかあ♡それに耳も首筋も乳首も、
497 舐め舐めイジジされたいだなんて…♡カラダ全身愛されたいってことかな…♡」
498

499 【DHM…①→④移動しながら】

500 来栖「じゃあお望み通り、後輩ちゃんの大好きな背面座位で…んっ♡
501 ドスケベセックスして犯してあげるよ♡」
502

503 エロイン「おほっ♡」
504

505 (来栖、背面座位で挿入開始)
506 (SHE…挿入音)
507

508 【DHM…④寄っ】

509 来栖「んほ…………っ♡おおおっっ♡」
510

511 エロイン「お……………っ♡♡」
512

513 エロイン(んぶっ♡おちんぼ♡来栖さんのおちんぼ♡)
514

515 来栖「…」っ♡そんなドスケベ腰へ「させたら、俺のチンポを
516 君のおまんこにずっぶり♡挿入できないだろ♡♡
517 後輩ちゃんは本当にエッチだな♡♡」
518

519 エロイン「んぐえ♡」めんなしやっ♡次は我慢しますっ♡♡」
520

521 (SHE…挿入音)
522 (挿入完了)
523

524 来栖「おっっっ♡挿入ったあっ♡一気にぬるぬるっ…♡
525 キミのおまんこっ♡一っになれちゃったよっ♡」
526

527 エロイン「ん♡おおおおっっっ♡♡♡♡♡♡
528 バキバキんぼ挿入ってきたあっっっ♡♡♡♡♡♡」

529 来栖 「ほっ♡おっ♡もういいよねっ♡動く♡動くよっ♡腰。ハコハコハメながら、
530 ガチハメピストンキメてあげるね♡」
531

568 (ピストンに合わせた喘ぎ声&耳舐め…10秒ほど)

569

570 来栖 「んっ♡んっ♡おお…♡♡んっ♡あゝゝやっば♡

571 めちゃくちゃ気持ちイイゝゝ♡後輩ちゃんのドスケベまんこに俺のおチンポ、
572 スボ♡スボ♡ハメるの最高すぎるだろッシン♡♡」

573

574 (ピストンに合わせた喘ぎ声&耳舐め…10秒ほど)

575

576 【DHM…④寄っ】

577 来栖 「んっ♡おっ♡んっ♡おお…♡無理無理無理♡出っ♡出るっ♡あゝゝゝ♡♡

578 めちゃくちゃ濃い精液が♡ズリズリ尿道アガってきてんの分かる♡」

579

580 (ピストンに合わせた喘ぎ声…10秒ほど)

581

582 来栖 「おっ♡おっ♡おっ♡スグ♡ヤン♡出るっ♡もっ出るっ♡

583 射精♡射精するっ♡♡♡」

584

585 (ピストンに合わせた喘ぎ声…10秒ほど)

586

587 エロっ♡「おっ♡おっ♡私ももっイクっ♡スッのきちまっ♡♡

588 イクイク♡イクッゝゝゝゝゝゝ♡♡♡

589 んっ♡おおおおおおゝゝゝゝゝゝ♡♡♡」

590

591 (激しめのピストンに合わせた喘ぎ声…10秒ほど)

592

593 来栖 「っ♡出るっ♡射精するっ♡イクっ♡イクもっ♡

594 チンポから精液ひら出すっ♡」

595

596 (激しめのピストンに合わせた喘ぎ声…10秒ほど)

597

598 来栖 「んっ♡おおおおおおお♡どっ♡出るっゝゝ♡♡♡おっ♡おっ♡

599 んっ♡おおおおゝゝゝゝ♡一緒にイクっ♡二人でガチアクメめながら♡」

600

601 エロっ♡「おっ♡おおおお♡おっ♡おっ♡出っ♡たっ♡ッ♡射精っ♡♡♡

602 おまゝ♡にっ♡ぽろっ♡出っ♡ゝゝゝゝ♡ゝゝ♡ゝゝ♡おおおおおお♡」

603

639 【DHM…②】

640 来栖 「んっ……ああ、もしかしてまだシたりなかつた？そっくだよね、

641 ドスケベな後輩ちゃんは一回じゃあ満足出来るわけないもんね♡

642 大丈夫だよ♡この部屋に来る人なんて滅多に居ないし、長めの休憩ってことで。

643 上には「まかしておいてあげるから♡」

644

645 ヒロイン「んあ♡ちが、来栖さんじゃなくって♡」

646

647 【DHM…②→①移動しながら】

648 来栖 「もっ変なこと言わないの♡そんな後輩ちゃんには…♡」

649

650 【DHM…①寄り】

651 来栖 「キスして、だまらせちゃおっか♡」

652

653 ヒロイン「……えっ…」

654

655 (ディープキス…10秒ほど)

656

657 【DHM…①】

658 来栖 「……ぶはっ♡さつきは出来なかつたけど、もう俺たちはこういう関係なんだし…♡

659 キスしたって問題ないだろ？。じゃあ…♡二回戦と行っつか♡後輩ちゃん♡」

660

661 ヒロイン「まっ♡♡まっ♡♡ください先輩♡……あっ♡」

662

663 (ディープキス…10秒ほど)

664 (二回戦が始まるであろう雰囲気を感じながらフェードアウト)

665

666 【END】